

平成26年度
峡東教育事務所 学校教育担当情報誌

はぐくみ

平成26年12月5日発行(No.63)

平成26年度学力向上推進事業 峡東地区「学力向上の集い」開催

11月21日(金), 峡東地区「学力向上の集い」が, 各学校のご理解, ご協力により, 週末のお忙しい中, 200名を超える皆様のご参加をいただき開催されました。ありがとうございました。

勝沼市民会館を会場に, 山梨大学教職大学院客員教授・中澤勇三先生, 前石和中校長・角田修先生を講師にお招きし, 「家庭において, 子どもの意欲的な学習習慣を育むにはどうしたらいいか」をテーマに集いは進められました。お二人の先生のお話を伺った後, コーディネーターを務めてくださいました県義務教育課指導主事・深澤秀興先生の進行のもと, 次の内容を参加者全員で確認することができました。

○今の学力は関心・意欲・態度が重視されている。意欲を引き出すためには褒めること, 認めること, 聞き上手になることが必要。○保護者(最大の理解者)と教師(最大の支援者)が情報を共有して子どもの教育にあたることが大切。○家庭学習を習慣化させるためには手立てが必要であり, 宿題は学びの習慣化の手立てとなる。さらに, ○自主学習の取組が学力の向上にはとても有効である。○学力を向上させるための特效薬はない。学力を向上させるためには, 子どもの心の動きから学びの動機を与えること, 学びへの自覚(気づき)をもたせること, そして, 家庭でできることをしっかり把握することが大切。

参加者の皆様に, 集いの終了後, 出していたいただいたアンケートの内容を読ませていただきました。とても有意義な時間であったという意見をたくさんいただきました。お寄せいただいた意見は, 今後の学力向上推進事業に活かして参りたいと思います。また, 集いの内容につきましても, 各家庭, 各学校でそれぞれに還元していただくとともに, 今後の子どもたちの家庭学習の充実, 学習習慣の形成に向け, 積極的な取組をよろしく願いいたします。



平成26年度「山梨県授業改善プラン実践事業推進校」の取組

□塩山南小学校

塩山南小では、11月19日(水)に「授業改善プラン実践事業推進校授業研究会」が行われました。「確かな学力の定着を目指した授業改善の工夫(1年次)～学ぶ楽しさや分かる喜びを味わえる効果的なPDCAサイクルを通して～」を研究テーマに、児童の学力向上に資する教師の指導力向上を図る観点から、教科及び生活習慣や学習習慣に関する指導方法の工夫改善などの研究を進めています。

○第1学年国語科授業

「読むこと」の課題に対して、

- ・読み取ったことを誰かに伝えるという目的を明確にした学習活動を取り入れる。
- ・文章表現上の順序にそって、内容の大体を読み取らせる学習活動を取り入れる。

○第4学年国語科授業

「読むこと」の課題に対して、

- ・中心となる語や文をとらえたり、段落相互の関係をとらえたりして、読む力をつける。
- ・目的に応じて、読み取った内容や文章の構成の工夫を生かして、説明したり報告したりする活動を取り入れる。

○第5学年社会科授業

「資料を読み取り、社会的事象を理解したり、適切な用語を用いながら表現すること」の課題に対して、

- ・授業の構造化を図る。(板書の工夫・学習の流れの提示)
- ・資料の読み取りを重視する。・話し合い活動を効果的に取り入れる。・学習のまとめを工夫する。

といった具体的な改善のポイントを示し、塩山南小学校では3本の授業実践を行いました。



4年 国語科授業
「家の人にアップとルーズを使って、学校生活を紹介しよう」



6年 社会科授業
「工業の今と未来」



1年 国語科授業
「じどう車図鑑」

□春日居中学校

11月26日(水)、春日居中では、「授業改善プラン実践事業推進校授業研究会」が行われました。「生きる力を育む授業の創造～意欲的に学習する生徒の育成を目指して～」を研究テーマに、9月に引き続き3回目の授業研究会が行われました。

○第2学年英語科授業

「書くこと」の課題に対して、

「書くことの力を高めること」「伝えたい中身を考え、自己表現する力をつけること」「インテイクしたものをアウトプットする力をつけること」を改善のポイントとして授業実践を行いました。

○第3学年社会科授業

「資料活用と表現」,特に「自分の考えをまとめる・説明する活動が苦手である」課題に対して、

- ・学習問題を提示し、予想を立てさせて複数の資料から理論的に思考(比較・関連・統合・判断)するような活動を仕組む。

・資料をもとに説明し合うグループ活動を仕組む。

・ふり返り学習を重視し、ポートフォリオ等、学びの過程を可視化できる工夫を図る。

・言語活動を通し、単元を貫くゴールをきめた学習活動を仕組む。

といった、具体的な改善のポイントを示し、春日居中学校では2本の授業実践を行いました。



春日居中
2年 英語科授業
「町紹介」
友だちの行きたいところについて英語で読み合い、感想を言い合い、さらに日本

□山梨北中学校

11月28日(金),山梨北中学校では、「授業改善プラン実践事業推進校授業研究会」が行われました。「確かな学力の向上をめざす学習指導に関する研究～言語活動の充実による授業改善～」を研究テーマに、特に生徒の学力向上に資する教師の指導力向上を図る観点から、教科及び生活習慣や学習習慣に関する指導方法の工夫改善など、実践的な研究を進めています。

第1学年理科授業

「分析・解釈から科学的な概念を使用して考えたり、説明したりすることが弱い」課題に対して、

- ・グループでの話し合い活動をくり返して行う。
- ・探求的な活動の中で、生徒の主体性を引きだす言語活動を取り上げる。

○第2学年数学科授業

「事象を式、図、表、グラフ等に表現したり、読み取ったりすることが弱い」課題に対して、

- ・数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし、筋道を立てて説明し、伝え合う数学的活動を仕組む。

○第3学年英語科授業

「外国語を用い、互いの考えや気持ちを伝え合うなど、コミュニケーション能力が弱い」課題に対して、

- ・具体的な場面設定をし、生徒に英語を用いて表現する必然性を与える。
 - ・表現形式(どんな言語材料を用いるか)について、生徒自らが選択する機会を与える。
- といった、具体的な改善のポイントを示し、山梨北中学校では、3本の授業実践を行いました。



2年 数学科授業
「平行線と角」



1年 理科授業
「物質のすがた」



3年 英語科授業
「電話での応答」

平成26年度「やまなし」道徳教育推進校による取組

加納岩小学校、山梨南中学校に昨年度より、「やまなし道徳教育推進校」をお引き受けいただいております。3年間の取組期間のうち、今年度は2年目の研究実践に取り組んでいただいております。「魅力ある道徳の授業づくり研修会」として、11月19日(水)、加納岩小学校で道徳授業研究会が行なわれました。1年生が「ともだちとなかよく」、3年生が「友達のよさ」、6年生が「自分の心に誠実に」を主題として、それぞれの授業に取り組みました。

- ・資料提示の工夫
- ・発問の工夫
- ・表現活動の工夫
- ・ワークシートやポートフォリオの工夫
- ・地域との連携

を中心に、研究推進校としての成果が十分発表されました。

なお、来年1月16日(金)には山梨南中学校において、道徳授業研究会が行なわれる予定です。



1年 友情・信頼・助け合い
「ともだちとなかよく」



3年 信頼・友情
「たまちゃん大す」



6年 誠実・明朗
「のりづけされた誌」

12月の校内研究会要請訪問の予定

12・3	菱山小学校；1年算数「どちらがおおい」 授業者；武井麻子教諭
12・3	後屋敷小学校；4年算数「広さを調べよう」 授業者；岡村理恵教諭
12・3	日下部小学校；5年算数「面積の求め方を考えよう」 授業者；藤木真里佳教諭
12・3	勝沼中学校；2年道徳 「自然や崇高なもののかかわりに関すること～生命尊重～」 授業者；内田瑛一郎教諭
12・5	山梨南中学校；2年数学「平行線と角」 授業者；原谷真仁
12・9	石和中学校；教科・問題別研究会議 1年体育「球技(ネット型・バレーボール)」 授業者；後藤 央教諭
12・10	牧丘第一小学校；5年算数「三角形と四角形の面積」 授業者；那須美佳教諭
12・10	松里中学校；1年数学「比例・反比例の利用」 授業者；大塚淳一教諭
12・10	山梨南中学校；道徳学習会 「HUMANⅢ」の分析結果の読み取りについて
12・10	境川小学校；3年国語「三年とうげ」 授業者；岩澤真紀子
12・11	東山梨養護教員研究会；学習会 「食物アレルギーへの対応・日常職務について」
12・12	石和南小学校；1年算数学習会
12・15	石和南小学校；5年理科学習会



